

XIII. 淡海環境プラザ事業

1. 淡海環境プラザ開設

滋賀県では、下水処理技術の継承と発展を図り、一層の効率化や省エネルギー化を進めるため、下水処理技術の研究開発、普及促進、さらには、その成果を水環境ビジネスに繋げる拠点として、平成25年4月に、「淡海環境プラザ」を矢橋帰帆島内に開設しました

2. 淡海環境プラザ事業の概要

淡海環境プラザでは、下記の事業を実施しています。

①公共技術支援

各浄化センターにおける水質管理評価業務、現場支援業務

②人材育成

普及啓発業務（各浄化センター施設見学対応、広報誌『碧い湖』の発行、啓発イベントの開催、下水道技術講習会の開催）

③新技術開発支援

滋賀県と企業等の共同研究ならびに各浄化センターにおける企業等の試験研究のためのフィールドや試料の提供を行う。

④新技術普及促進支援（技術展示）

新技術開発の成果や、企業等の新技術、製品を淡海環境プラザ館内に展示し、情報発信を行う。

3. 水環境技術の海外展開

滋賀県と（公財）淡海環境保全財団が連携して実施している「湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト」（国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業）における研修の実施、専門家の派遣、セミナーにおける情報の提供などを行っているほか、滋賀県商工観光労働部と連携し、水環境ビジネスに関心のある企業に向けた情報の提供や、ビジネスセミナーの開催、海外からの視察受入れ等を随時行っています。



淡海環境プラザ外観



淡海環境プラザ館内 技術展示場

滋賀県における先進的水環境保全の取組と、知識・技術と経験の集積という強みを生かした海外展開の取り組みが認められ、国土交通省より、水環境技術の海外展開に積極的な団体から成る「水・環境ソリューションハブ（WES Hub）」の構成地方公共団体として、平成26年3月28日に登録されています。



WES-Hub AAA登録証

4. 新技術開発等支援（共同研究ほか）

淡海環境プラザでは、琵琶湖流域下水道各浄化センターの施設、流入下水等を利用した企業等の新技術開発支援を行うとともに、プラザを利用した新技術開発の成果や、企業等の新技術、製品を館内に展示し情報発信を行う「新技術開発等支援事業」を開始し、あわせて、事業活用企業等を募集しています。

1) 共同研究

企業等の課題提案により、県と共同研究を行う「民間等提案型共同研究」を募集しています。

2) フィールド提供

企業等が試験・研究等を行うためのフィールドを提供しています。

3) 試料提供

企業等が試験・研究等の目的で使用する流入下水、処理水、汚泥、焼却灰その他試料を提供しています。

4) 技術展示

企業等の有する水環境技術、製品等の展示を目的としてプラザ館内の展示スペースを提供しています。

要領、申請様式はこちら↓

<http://www.pref.shiga.lg.jp/d/gesuido/ryuuiki/kyoudoukenkyu.html>

淡海環境プラザ

住 所 〒525-0066 滋賀県草津市矢橋町字帰帆2108番地

電話番号 077-569-5306

FAX番号 077-569-5334

開館時間 9:00～16:30

休 館 日 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始

ホームページ <http://www.ohmi.or.jp/plaza/>（淡海環境保全財団ホームページ内）